



# しらかわ果樹情報特別号

## 「はつひめ」を栽培してみませんか？



令和4年12月19日  
福島県県南農林事務所農業振興普及部

### 1. はじめに～「はつひめ」とは？(県のHPより)

#### (1) 概要

「はつひめ」は平成11年に「あかつき」に「はつおとめ」を交配した交雑実生から選抜され、平成21年2月に品種として登録された早生品種です。収穫期は同じく早生品種の「日川白鳳」より7日ほど早く、育成地である福島市飯坂町では7月上中旬に収穫できます。

#### (2) 果実品質

果実の重さは220～300gと、早生種としてはかなり大きくなります。肉質はなめらかで、果汁が多く、食味は香りが豊富で甘いです。日持ちは「日川白鳳」と同等です。

#### (3) 栽培特性

核割れは発生しますが、早生種としては少なく、裂果は発生しません。花粉がないため、摘果作業の省力が図れます。

#### (4) 病害虫

果実でせん孔細菌病の発生が拡大する前に収穫することができ、収穫ロスを防ぐことができます。

### 2. 「はつひめ」の導入おすすめ理由

#### (1) 品種構成の見直しの点から

老木でせん孔細菌病が毎年多発する園地では、適切な薬剤散布や耕種的防除を行っても、樹体に病原菌が潜んでいるため、防除が困難な場合があります。その場合、改植が必要となりますが、「はつひめ」は果実でせん孔細菌病の発生が拡大する前に収穫できるため、おすすめです。

#### (2) 労力分散の点から

花粉がなく、摘蕾・摘果作業の省力が図れることに加え、収穫期を分散することができます。

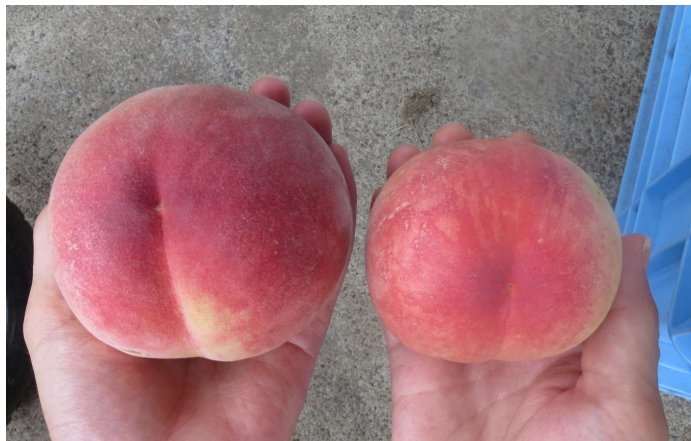
### 3. 「はつひめ」導入の留意点

花粉がないため、人工授粉を行わない場合は、混植園での栽培を推奨します。また、摘蕾作業は省略しますが、短果枝を中心に50%程度の摘蕾を行うと果実肥大の確保に有効です。

## 4. 白河地方の「はっひめ」栽培状況（東上野出島）

### （1）栽培特性

栽培者からは「樹勢は強めなため、収穫後に夏季せん定を行う必要がある。」とのこと。果実は「ちよひめ」と比べて大きいです。



栽培7年目の「はっひめ」

「はっひめ」（左）「ちよひめ」（右）の様子

### （2）果実品質

白河地方の今年の収穫始めは7月5日で、収穫終わりは7月13日となり、果樹研究所の収穫時期（表1）とほぼ同時期となりました。

表1 ももの収穫状況（果樹研究所）

品種	収穫開始日			収穫盛期			収穫終期			果実重(g)			糖度(° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
はっひめ	7/4	7/6	6/28	7/7	7/9	7/3	7/12	7/13	7/8	304	264	298	13.2	11.8	11.4
日川白鳳	7/1	7/13	6/30	7/5	7/16	7/4	7/7	7/20	7/8	236	236	231	12.6	11.0	11.3
暁星	7/15	7/21	7/12	7/18	7/25	7/15	7/22	7/29	7/19	241	221	214	13.3	13.0	12.9
ふくあかり	7/22	7/21	7/12	7/24	7/27	7/18	7/29	7/31	7/21	323	266	286	13.0	13.0	12.9
あかつき	7/28	7/31	7/21	未	8/4	7/24	未	8/9	7/29	<u>382</u>	269	298	<u>13.3</u>	13.0	13.8

注) 平年値は、1991～2020年（「はっひめ」「ふくあかり」は2009年～2020年）の平均  
下線の値は、収穫始期の果実品質のため参考値

果実の重さは337gと、果樹研究所の「はっひめ」、「日川白鳳」より大きくなりました。糖度は13.0° Brixで、果樹研究所の「日川白鳳」より高く、「はっひめ」と同程度となりました（表1、2）。

表2 白河地区と果樹研究所の「はっひめ」果実品質

	果実重(g)	糖度(° Brix)
はっひめ(白河)	337	13.0
はっひめ	304	13.2
日川白鳳	236	12.6

※はっひめ(白河)は東上野出島、記載のないものは果樹研究所で収穫